

岡山市内の大学生の政治意識について話し合う岡山理科大の木村ゼミの学生ら＝北区の岡山理科大で



参院選の投票に「絶対に行く」18%、「多分行く」40%で、ゼミ生の池田優子さんは「少ないと感じた。ニュースをもっと分かりやすく解説してくれれば、関心を持つようになると思う」と述べた。参院選の争点の一つに挙げられている憲法改正については賛成、反対が各27%。木村教授は「報道機関の世論調査では賛成が高くなる傾向にある。学生には憲法を守ろうとする意識があるのかも知れない」と話した。

景気・雇用改善 7割が「期待」 望む総理ベスト3は自民

2013 参院選

政治への期待では、景気回復44%、雇用問題23%。就職活動に関係する項目が全体の約7割を占めた。外交問題は8%、少子化問題は7%。支持政党では40%

「政治に関心」増え46%

岡山 6大学の610人意識調査

来月の参院選を前に、岡山理科大学の政治意識アンケートを実施した。「政治に関心がある」は46%で、昨年より5%上昇。また政治に期待するのは景気回復で、同大学総合情報学部の木村邦彦教授(67)は「就職活動をしなければならない学生にとって、アベノミクスで景気が上向き雇用状況が改善してほしい」という表れでは」と分析した。今回で9回目の実施。

【石井尚】

木村教授のゼミに所属する3年生8人が今年より18%増。13%減。月中旬、岡山、岡山理科大学、岡山商科、山陽学園、就美、ノートルダム清心女子の各大学の学生610人を対象に設問21項目について対面形式で回答を得た。

が占めた。

ゼミ生の横溝文也さんは「株価などでアベノミクスの成果が見えてほしい」という期待ではないか」と推測した。